

お三の宮地区

第2期計画の振り返り（平成22～27年度）

☆新世代のまちづくり！

各世代が活動できる地域のために・・・

【成果】

- ・「ふれあい食事会」を開催し、各町内から定期訪問している高齢者の方に参加してもらいました。12月は「ひとあし早いクリスマス」として、開催しました。
- ・「ふれあい落語会」を年2回開催し、多くの方に楽しまれています。
- ・「ふれあいオセロ大会」「グランドゴルフ大会」は楽しい異世代交流の場となっています。
- ・「うらふね納涼祭」に協力しました。
- ・「防災訓練」の実施に協力しました。

【今後に向けて】

- ・「ふれあい食事会」は今の取組を大事に継続していきます。
- ・地域住民の交流を促す各事業に、より多くの方に参加してもらうため、幅広く呼びかけていきます。



ふれあいオセロ大会

集える機会づくりを通じて地域間の交流・連携を図るために・・・

【成果】

- ・子育てサロン「ほっと mom」を開設し、子育て中の親と子が過ごす場をつくりました。
- ・高齢者サロン「ひだまり」を開設し、高齢者が地域で気軽に集える場をつくりました。

【今後に向けて】

- ・チラシや掲示板等を活用し、さまざまな場面で声をかけ、参加を募ります。
- ・子育ておよび高齢者サロンは、集いの場として継続して安定した運営ができるよう取り組んでいきます。



ほっと mom



ひだまり

地区社会福祉協議会を地域に知ってもらい、 必要な情報が行き渡るために・・・

【成果】

- ・「お三の宮地区社会福祉協議会だより」を年2回発行し、地区社会福祉協議会の事業や行事を紹介しました。
- ・各行事では、見やすくわかりやすいチラシを作成しました。
- ・地区社協や子育てサロンののぼり旗を活用し、PRしました。



地区社協だより 編集委員会

【今後に向けて】

- ・広報紙は写真の掲載を増やし、行事に参加された方の感想を掲載するなど、見やすく親しみやすい紙面づくりを進めます。
- ・地区社協や地域の活動をもっと知ってもらうため、配布部数を増やす検討を進めます。

災害時にお互いに支えあえる地域のために・・・

【成果】

- ・日枝小学校での防災訓練に、福祉施設にも参加を呼びかけ、地域一体となって取り組みました。
- ・認知症サポーター養成講座に協力し、日常的な地域での見守りを進めました。

【今後に向けて】

- ・防災訓練で出た課題を一つ一つ解決し、災害時に備えます。
- ・高齢化がさらに進む中、引き続き認知症への理解を進めるため、幅広く声掛けして、認知症サポーター養成講座に協力していきます。



認知症サポーター養成講座

第3期計画（平成28～32年度）

地域の特徴

（データ＝平成26年9月末日現在）

北側と南側に大岡川と中村川が流れる平坦地です。鎌倉街道沿いを中心にマンションやオフィスが立地しています。

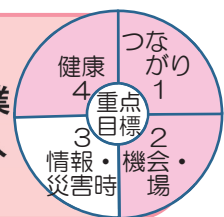
地区人口＝約12,400人
年少人口比率＝9.5%
高齢人口比率＝19.2%
総世帯数＝約7,600世帯
平均世帯規模＝約1.6人



新世代のまちづくり！

各世代が活動できる地域のために・・・

5年後の将来像：世代や国籍に関わらず、誰もが参加できる交流事業を通じて、地域で顔の見える関係づくりが進み、人材発掘につながっている。

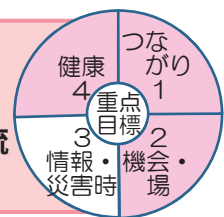


具体的な取組等

- ・3世代交流 ふれあいスポーツ大会、落語会、ふれあいオセロ大会、グランドゴルフ大会、うらふね納涼祭 を通じて、楽しみながら、顔の見える関係づくりや健康づくりに取り組み、人材発掘につなげていきます。
- ・日枝小の地域防災拠点訓練に参加・協力し、将来の担い手となる子ども達とともに、災害時に備えていきます。

集える機会づくりを通じて、地域間の交流・連携を図るために・・・

5年後の将来像：子育てサロンや高齢サロンなどを通じて地域の交流や健康づくりが更に進んでいる。

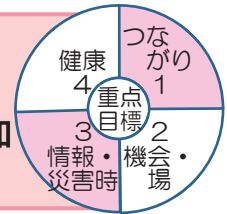


具体的な取組等

- ・子育てサロン「ほっとmom」を継続して運営し、地域で安心して子育てができるよう子育て中の親子の交流を図ります。
- ・高齢者サロン「ひだまり」の周知をはかり、更に地域に広め、地域のより多くの高齢者が集えるよう進めます。
- ・好評なふれあい食事会を継続し、地域での交流を深めていきます。

**地区社協を地域に知ってもらい、
必要な情報が行き渡るために・・・**

5年後の将来像：地区社協が地域で認知され、地区社協事業が広く知られている。

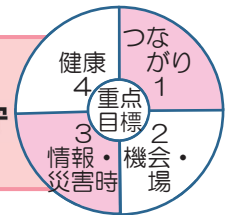


具体的な取組等

- ・ 広報紙「お三の宮地区社協だより」を幅広い世代に向けた充実した紙面づくりとし、発行部数を大幅に増やし全戸配付とすることにより、実施事業の周知を図ります。
- ・ 各事業でイラストや写真入りのチラシを作成・配布し、人目につく機会を増やし広めていきます。また実施時に地区社協事業であることを説明し、のぼり旗でPRし、地区社協の役割と理解を進めます。

いつもお互いに支え合える地域のために・・・

5年後の将来像：地域でお互いを支える意識が広まり、日常的な見守りが進んでいる。



具体的な取組等

- ・ 地域のキャラバンメイトによる認知症サポーター養成講座を開催し、地域で認知症理解を進め、見守り活動に取り組みます。
- ・ 日枝小の地域防災訓練に引き続き取り組みます。
- ・ 学校と連携し、子ども達を含めた多世代で日常的に緩やかな見守りができるように取り組みます。